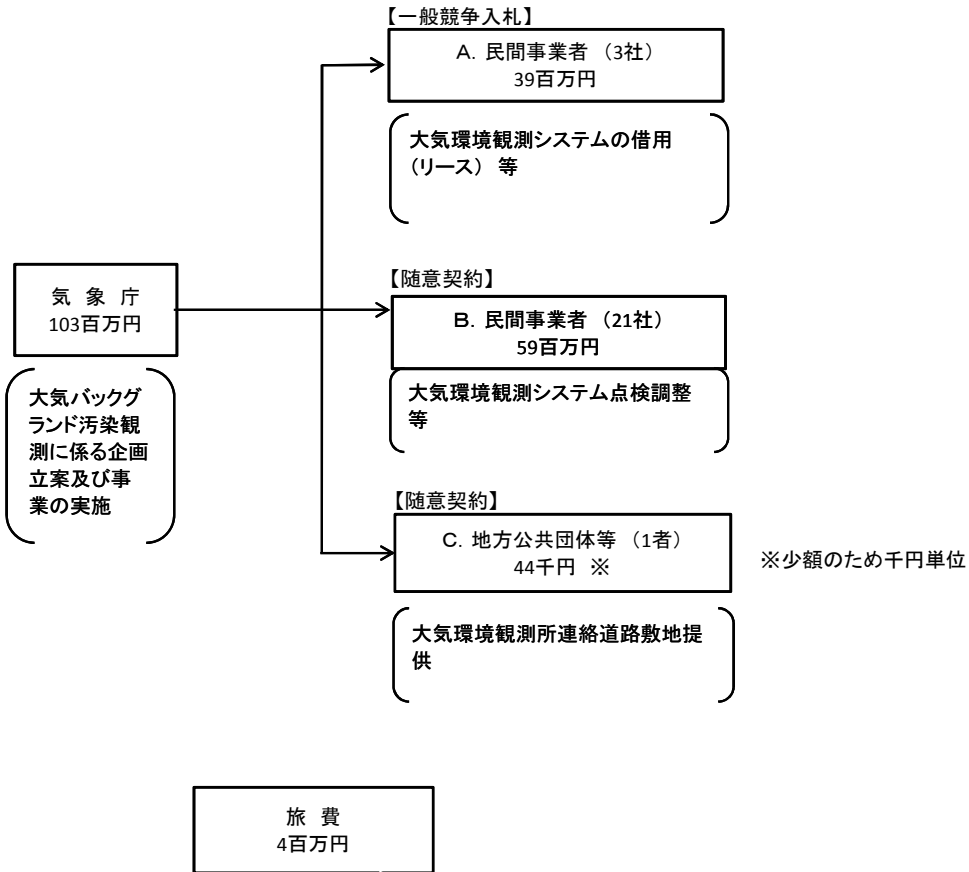


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	大気バックグラウンド汚染観測		担当部局	気象庁地球環境・海洋部		作成責任者	環境気象管理官 佐々木 徹		
事業開始・終了(予定)年度	昭和50年度～		担当課室	環境気象管理官		環境気象管理官 佐々木 徹			
会計区分	一般会計		施策名	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第11条) 地球温暖化対策の推進に関する法律(第3条)		関係する計画、通知等	第4次環境基本計画(平成24年4月27日閣議決定) 京都議定書目標達成計画(平成20年地球温暖化対策推進本部全部改定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大気中の温室効果ガス等の観測を長期にわたり継続的に実施し観測結果を公表することにより、地球温暖化の監視、地球温暖化予測の不確実性の低減、地球温暖化対策等に係る政策決定に貢献する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスの観測や地球温暖化に影響を及ぼす大気中の微粒子(エアロゾル)の観測等を20年以上継続して実施している。全国3か所の観測地点(岩手県綾里、東京都南鳥島、沖縄県与那国島)は、世界気象機関(WMO)の国際的な観測網に登録され、その観測データは気象庁の刊行物やWebページにおいて情報として公開するほか、世界気象機関(WMO)の資料センターに提供している。なお、平成16年度からは黄砂に関する実況値や予測情報の提供も実施している。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
		当初予算	103	273	103	84	125		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
	計	103	273	103	84	125			
	執行額	102	273	103					
執行率(%)	99.0%	100.0%	99.7%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(23年度)		
	地球環境に関する気象情報について、平成19年度から平成23年度までの各年度に3件(5年間で計15件)の改善又は新規の情報提供を行う。		成果実績	件	9	11	16	15	
		達成度	%	60	73	107			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込		
	観測回数 (観測種目数×時間数×日数) (温室効果ガス、エアロゾル等)		活動実績 (当初見込み)	回	219,000	219,000 (219,000)	219,696 (219,600)	— (193,872)	
	情報の発表回数 (温室効果ガス・黄砂等)		活動実績 (当初見込み)	回	3,301	3,305 (3,305)	3,324 (3,324)	— (3,315)	
	刊行物発行回数 (大気・海洋環境観測報告等)		活動実績 (当初見込み)	回	4	4 (4)	4 (4)	— (4)	
単位当たりコスト	467 (円/回)		算出根拠	H23執行額/H23観測回数					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	4	4	・二酸化炭素検定装置・メタン標準ガス濃度校正装置の更新41百万円					
	観測予報庁費	80	121	・二酸化炭素検定装置・メタン標準ガス濃度校正装置の保守委託費の当然減					
	土地建物借料	0	0	▲0.3百万円					
	計	84	125						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・地球温暖化をはじめとする地球環境問題は我が国のみならず人類にとって喫緊の課題であり、それを監視することは効果的な対策を施す上でも不可欠であることから、政策の優先度が高く、かつ国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・観測機器等の調達に当たっては、できる限り一般競争入札により調達するよう努めている。 ・調達内容を吟味し、コスト縮減に努め、無駄のない予算の執行に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの大気中の濃度を長期的に観測し公表することは、地球温暖化対策において有効な手段である。 ・成果目標に対する達成度は確実に向上している。 ・航空機による温室効果ガスの定常的な観測は気象庁のみが実施している（研究目的の観測は他機関も実施）。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・本事業は、人類にとって喫緊の課題である地球温暖化を監視し、地球温暖化予測の不確実性を低減するために不可欠であることから、継続して実施する必要がある。</p> <p>・平成23年度は、大気環境観測所（岩手県綾里）で行っているエアロゾル観測を見直し、衛星搭載型のエアロゾル観測装置のデータ（無償）を活用することにより、平成24年1月に大気環境観測所におけるエアロゾル観測装置（エアロゾルライダー）の運用を廃止した。これによりコストを縮減した。また、競争性の確保等による効率的な調達方法の実施に努めた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業の成果を国民にわかり易く発信するため、気象庁ホームページにおける本事業の掲載内容の拡充が図られた。引き続き、調達の競争性を確保しつつ、調達方法の改善を図り、コストの縮減に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
執行等改善	<p>二酸化炭素検定装置・メタン標準ガス濃度校正装置の更新による増額。 本事業の成果を国民にわかり易く発信するため、上空における二酸化炭素濃度の分布情報を追加するなど、気象庁ホームページにおける本事業の掲載内容の一層の拡充を行った。 チームの所見を踏まえ、引き続き、調達の競争性を確保しつつ、調達方法の改善を図り、コストの縮減に努める。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>・地球温暖化をはじめとする地球環境問題の解説及び観測成果等については、以下の気象庁ホームページにおいて公開している。</p> <p>気象等の知識「地球環境・気候」：http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kikou.html 気象統計情報「地球環境・気候」：http://www.data.kishou.go.jp/climate/index.html</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	500	平成23年行政事業レビュー	477

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



※少額のため千円単位

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (株)関電L&A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	大気環境観測システムの借用(リース)	23			
計		23	計		0
B. 環境総合テクノス(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	大気環境観測システム点検調整 等	23			
計		23	計		0
C.大船渡市会計管理者			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	大気環境観測所連絡道路敷地借料	0.044			
計		0.044	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)関電L&A	大気環境観測システムの借用(リース)※	23	1	99.75
2	東京センチュリーリース(株)	全球大気汚染気象情報データ処理装置の借用及び保守※	15	1	99.93
3	光陽商事(株)	自動車による職員送迎業務(大気環境観測所)	1	3	非公表
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※ 複数年度契約であって、23年度より前に契約を行ったもの

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境総合テクノス	大気環境観測システム点検調整 等	23	随意契約	
2	(株)関電L&A	大気環境観測システムほかの借用(リース)	13	随意契約	
3	NECキャピタルソリューション(株)	集合型GPS高層気象観測システムほかの借用	12	随意契約	
4	NECエンジニアリング(株)	エアロゾル観測装置の点検調整	4	随意契約	
5	日本サーモ(株)	オゾン標準ガス発生器の較正及びオゾン濃度計較正装置の点検調整	2	随意契約	
6	中村建設(株)	エアロゾル観測装置局舎の基礎撤去及び原状回復等の工事	1	随意契約	
7	シャープファイナンス(株)	JMA-95型地上気象観測装置ほかの借用	1	随意契約	
8	英弘精機(株)	サンフォトメータの修理	1	随意契約	
9	(株)島津製作所	メタン標準ガス較正装置点検調整 等	0.6	随意契約	
10	(株)鈴木商館	ガス容器耐圧検査 等	0.4	随意契約	

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大船渡市会計管理者	大気環境観測所連絡道路敷地借料	0.044	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					